



バス再生の取組 事例紹介

名古屋産業大学の伊豆原浩二教授による「都市づくりへのバス交通の活用（国内外の事例から）」が行われ、バスの特性を発揮するための策として、バスレーンなどの走行環境の改善、バス停環境の改善などにおける国内外の事例の紹介、今後のバスサービスにおける課題の提案がありました。

基調講演として、名古屋産業大学の伊豆原浩二教授による「都市づくりへのバス交通の活用（国内外の事例から）」が行われ、バスの特性を発揮するための策として、バスレーンなどの走行環境の改善、バス停環境の改善などにおける国内外の事例の紹介、今後のバスサービスにおける課題の提案がありました。

方策が必要なのでしょうか？

全国でも有数の交通渋滞地域である那覇都市圏において、マイカーに頼りすぎず市民のニーズにあつたモビリティ（移動手段）を構築するためにはどのような

全国での公共交通に関する先進事例などを基に「市民のためのモビリティとは？」と題し、「沖縄本島公共交通利用促進方策等検討調査」の一環として、平成十七年一月二十四日（月）に自治会館において「公共交通利用促進方策講演会」を開催しました。

「公共交通利用促進方策講演会」開催



ICカードのデモンストレーション

また、□「浜松市オムニバスタウン計画（八カ年の取り組みと将来のバス交通）」（浜松市都市計画部交通政策課 玉木利幸課長補佐）、□「市民共同方式で走る全国初の地域バス」（醍醐地域にコミュニティバスを走らせる市民の会 吉村睦子副会長）、□「利用者の視点に立ったバスサービス改善施策」（東急バス株式会社 高橋和夫運輸部長）、□「ワイヤーロープけん引方式によ

